

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 6 区分  
 【発行日】平成 25 年 1 月 10 日 (2013.1.10)

【公表番号】特表 2012-508676 (P2012-508676A)  
 【公表日】平成 24 年 4 月 12 日 (2012.4.12)  
 【年通号数】公開・登録公報 2012-015  
 【出願番号】特願 2011-543808 (P2011-543808)  
 【国際特許分類】

**B 6 7 D 3/02 (2006.01)**  
**B 6 7 D 3/00 (2006.01)**  
**B 6 5 D 49/08 (2006.01)**  
**A 4 7 K 1/09 (2006.01)**  
**A 4 7 K 5/12 (2006.01)**

【F I】

B 6 7 D 3/02 C  
 B 6 7 D 3/00 K  
 B 6 5 D 49/08  
 A 4 7 K 1/09 Z  
 A 4 7 K 5/12 Z

【手続補正書】  
 【提出日】平成 24 年 11 月 14 日 (2012.11.14)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

液体を吐出するための作動機構を有する基部ユニット (2) と、前記基部ユニット (2) に液体を供給する流出口が最下部に位置する状態の逆転構成で前記基部ユニット (2) に対して挿入可能な補給ユニット (1) とを備えたディスペンサであって、前記補給ユニット (1) は、前記補給ユニット (1) 内に向かって突起し且つ前記補給ユニット (1) からの流出口を画成する環状壁 (30) を備え、前記環状壁 (30) は、前記環状壁 (30) に対して付勢されるバルブ要素 (33) により、前記環状壁の最内端部において閉鎖可能であり、前記基部ユニット (2) は、中空の栓 (11) と、前記栓 (11) の上部を包囲し且つ前記栓 (11) の上部から離間した環状シール (14) とを備え、それにより、前記補給ユニット (1) を前記基部ユニット (2) へと挿入すると、前記栓 (11) が前記環状壁 (30) へと入り込み、前記バルブ要素 (33) が前記環状壁 (30) から持ち上げられ、その結果、前記補給ユニット (1) から、前記栓 (11) の上部および/または前記バルブ要素 (33) の底部に形成された少なくとも 1 つの切り抜き部を通り、前記中空の栓 (11) を下る流路が画成され、前記環状シール (14) が前記栓 (11) と前記環状壁 (30) との間をシールし、前記バルブ要素 (33) が、少なくとも 1 つの弾性部材 (34) により前記環状壁 (30) に対して付勢され、前記バルブ要素 (33) は、前記弾性部材 (34) と一体的に製造され、前記弾性部材または各弾性部材 (34) は、前記補給ユニット (1) のキャップに固定された、周囲のバルブプレート (45) へと延長する、前記ディスペンサ。

【請求項 2】

前記少なくとも 1 つの弾性部材 (34) は、1 つの端部においては前記バルブ要素 (3

３）へと結合され、他方の端部においては、前記環状壁（３０）の最内端部の径方向外側の位置且つ前記最内端部の下方の位置において結合され、前記弾性部材または各弾性部材（３４）は、前記バルブ要素（３３）が前記環状壁（３０）から持ち上げられると、前記バルブ要素（３３）と前記環状壁（３０）との間に流路が存在するよう構成された、請求項１に記載のディスペンサ。

【請求項３】

前記流路を提供するために、複数の弾性要素（３４）が、前記複数の弾性要素間に間隙が存在する状態で存在する、請求項１又は２に記載のディスペンサ。

【請求項４】

前記バルブプレート（４５）は、前記キャップ（２１）と固定プレート（４６）との間に挟まれた、請求項１に記載のディスペンサ。

【請求項５】

１つまたは複数の固定ポスト（４７）が、前記様々な要素を相互に対して位置決めするために、前記キャップ（２１）、バルブプレート（４６）、または固定プレート（４５）のうちの１つに存在する、請求項４に記載のディスペンサ。

【請求項６】

前記補給ユニット（１）は水の粘度よりも大きい粘度を有する液体で充填された、請求項１から請求項５のいずれかに記載のディスペンサ。

【請求項７】

ディスペンサ用の補給ユニット（１）であって、前記補給ユニットは、使用中は最下端部となる１つの端部において開口部を備え、前記開口部は、前記補給ユニット内に向かって突起する環状壁（３０）を備え、前記環状壁は、前記環状壁（３０）に対して付勢されるバルブ要素（３３）により前記環状壁の最内端部において閉鎖可能であり、前記バルブ要素（３３）は、１つの端部においては前記バルブ要素（３３）へと結合され、他方の端部においては前記環状壁（３０）の前記最内端部の径方向外側の位置且つ前記環状壁の前記最内端部の下方の位置へと結合される、少なくとも１つの弾性部材（３４）により付勢され、前記弾性部材または各弾性部材（３４）は、前記バルブ要素（３３）が前記環状壁（３０）から持ち上げられると、前記バルブ要素（３３）と前記環状壁（３０）との間に流路が存在するよう構成され、前記流路を提供するために、複数の弾性要素（３４）が、前記複数の弾性要素間に間隙が存在する状態で存在し、前記バルブ要素（３３）が、前記弾性部材または各弾性部材（３４）と一体的に製造され、前記弾性部材または各弾性部材（３４）が、前記補給ユニット（１）の前記キャップ（２１）に固定された、周囲のバルブプレート（４６）へと延長する、前記ディスペンサ用の補給ユニット。

【請求項８】

前記バルブプレート（４６）は前記キャップ（２１）と固定プレート（４５）との間に挟まれた、請求項７に記載の補給ユニット（１）。

【請求項９】

１つまたは複数の固定ポスト（４７）が、前記様々な要素を相互に対して位置決めするために、前記キャップ（２１）、バルブプレート（４６）、または固定プレート（４５）のうちの１つに提供された、請求項８に記載の補給ユニット（１）。

【請求項１０】

前記開口部は液体流出口であり、前記バルブ要素（３３）は液体流出口バルブ要素（３３）である、請求項７から９のいずれかに記載の補給ユニット（１）。

【請求項１１】

前記開口部は空気開放吸気口であり、前記バルブ要素（３３）は空気開放バルブ要素（３３）である、請求項７から１０のいずれかに記載の補給ユニット（１）。

【請求項１２】

水の粘度よりも大きい粘度を有する液体で充填された、請求項７から１１のいずれかに記載の補給ユニット（１）。